

## 雨水循環下水道システム計画指針（案）の策定に関する調査研究

全体期間	1998.3～1999.6	本文79P～87P
------	---------------	-----------

### （目 的）

本調査は、都市整備区域においてオンサイト型の貯留・浸透施設、オフサイト型の貯留施設などを積極的に導入することにより雨水の流出抑制を図ると共に、これらの施設を活用した環境保全効果、アメニティの創出、利水機能も併せて総合的に評価する付加価値の高い下水道システムとしての「雨水循環下水道システム」について、その計画手法や施設担保方策、効果の把握手法などを取りまとめた指針（案）を作成することを目的として行った。

平成9年度は、平成8年度に実施された「都市開発における水循環複合システムと下水道整備のあり方に関する研究会」での成果に基づく基礎調査を実施したが、平成10年度は、これらを踏まえて指針（案）を作成した。

なお、本指針（案）は、学識経験者などから構成された検討委員会での審議を経て、最終的なとりまとめを行ったものである。

### （結 果）

本調査では、システム構成施設の配置計画や水文水理計画などに関する技術的体系と、施設の設置・存続の担保方策などに関する制度的体系の二つの視点から検討を行い、検討委員会での審議を経ながら、最終的な指針（案）を作成した。

作成した指針（案）の目次構成を以下に示す。

#### 第1編 都市整備における雨水循環下水道システム計画指針（案）

1. 総 説
2. 流出抑制施設と配置計画
3. オンサイト貯留浸透施設の水文水理計画
4. 雨水流出抑制型下水道雨水渠計画
5. オフサイト貯留施設の水文水理計画
6. システムの評価
7. オンサイト貯留浸透施設の設置及び機能維持に向けての方策
8. 維持管理について

#### 第2編 雨水循環下水道システムにおける検討事例（案）

1. 分散型調整池の計画事例（吉川駅南地区）
2. オンサイト貯留浸透施設による効果の試算例（常磐新線沿線開発地区）
3. オンサイト貯留浸透施設を考慮した雨水渠設計の例

#### 第3編 参考資料（案）

1. 関連補助制度
2. 関連技術指針
3. 浸透能力に関する基礎調査
4. 維持管理
5. 施設の担保方策に関する資料例
6. 調査事例

住宅・都市整備公団からの受託研究

研究担当者：篠田 康弘，野村 宣彦，藤浦 哲士，永松 真一

キーワード	雨水循環下水道システム，オンサイト型貯留浸透施設，分散型調整池
-------	---------------------------------